

平成29年九州北部豪雨

歯科支援報告会

～徹底検証:熊本地震の教訓は、活かされたのか?～

<前半>

平成30年2月25日(日)15:00～17:00

会場:熊本県歯科医師会館

福岡県歯科医師会会員 太田 秀人

droota@grace.ocn.ne.jp

主催: 日本災害時公衆衛生歯科研究会

共催: (一社)熊本県歯科医師会, 女川歯科保健チーム

「熊本地震の歯科支援活動の成果」

～南阿蘇地区での「偶然」と「必然」～

1、地元

(=主に 地域歯科保健医療関係者)

2、支援チーム

(=主に 歯科医師会・歯科衛生士会)

3、支援チーム

(=主に 大学)

熊本地震 南阿蘇地区 歯科支援活動の成果

＜発災前＞	
地域包括ケアにおける、多職種連携による口腔機能支援と食支援体制の確立	
	1) 地域保健活動等における、地元歯科医師と南阿蘇村保健師との関係
	2) 訪問歯科診療等における、地元歯科医師と介護施設職員等との関係
	3) 地域保健活動における、阿蘇郡市歯科医師会と阿蘇保健所との関係
＜発災後＞	
熊本地震での南阿蘇地区の状況におけるプラス要因	
環境要因	4) 行政が発災直後から正常に機能し、迅速な医療救護対策本部の立ち上げ（南阿蘇村の保健師と災害医療コーディネーターの医師が連携）
	5) 災害医療コーディネーターが、災害時の歯科活動に対する理解あり
	6) 身元確認に歯科が出動する事例発生なし
	7) 第2次医療機関への搬送を必要とする口腔顎顔面外傷なし
	8) 歯科支援チームが、仮設歯科診療所を設置する必要性なし
人的要因	9) 地元歯科医師が、医療救護対策本部の会議に当初から参加
支援側の要因	10) 支援チームの多くのメンバーが過去の災害支援活動で得た知識とスキル

田上大輔：南阿蘇村歯科支援活動報告．熊歯会報，2016年11月号．No.725，“総括”，P4-6

熊本地震 南阿蘇地区 歯科支援活動の成果

- 1) 地元医療者が起点となった多職種連携の実施
- 2) もともとの在宅や訪問歯科診療でのネットワークを生かす
- 3) 民間ボランティアからのSNSを通じた情報収集
- 4) 事前に知人から介護施設、障害者施設リストを入手
- 5) 行政歯科医師との連携...現地入り時点でレベル1を実施済み
- 6) 日歯災害歯科コーディネーターとの連携...現地入り翌日に到着
- 7) 各班のリーダーが、過去の災害経験者

第1班 Dr. 3名	第2班 Dr. 1名
第3班 Dr. 2名、DH 1名	第4班 Dr. 1名、DH 1名
- 8) 九州五大学MLの活用...専門性を生かし介護施設担当
- 9) 第1班に摂食嚥下専門医を派遣（第3班はST）

太田秀人：南阿蘇村歯科支援活動報告書から抜粋

被害概要 (平成29年7月5日発災)



発災5日後の道路状況 (⊗は不通箇所)

* 福岡県歯科医師会は、下線部に対応

- ・身元確認
- ・歯科医療支援
- ・会員支援

▪ **死者 37名** (朝倉市31名、東峰村3名、大分県日田市3名)

▪ **不明者 4名** (朝倉市) * いずれも9月8日現在

▪ **避難者 約1500名** * 7月6日現在

(朝倉市1011名/人口 54412名、東峰村486名/人口 2204名)

▪ **避難所数 計15か所弱**

▪ **高齢者・障害者施設 計20か所弱 (指定避難所外)**

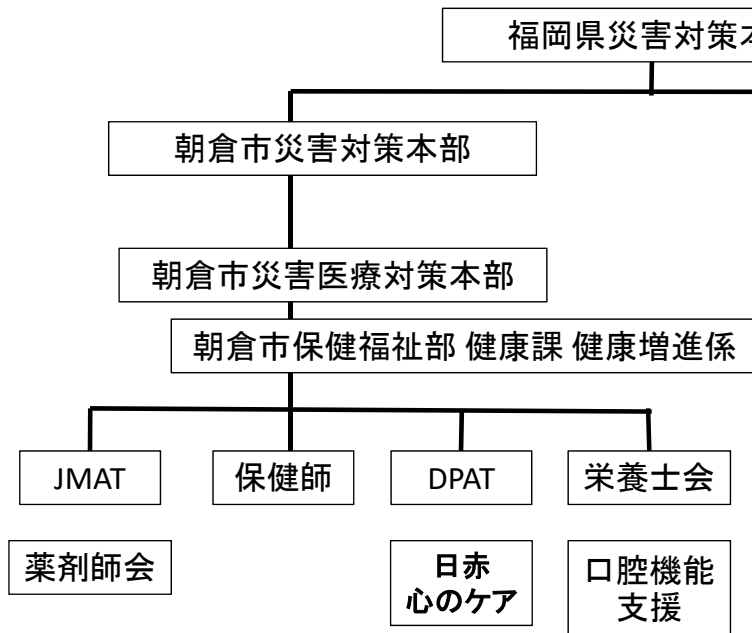
▪ **歯科医院被害 9件** (朝倉市7/37件、東峰村2/2件)

九州北部豪雨災害＝「紙一重」の災害

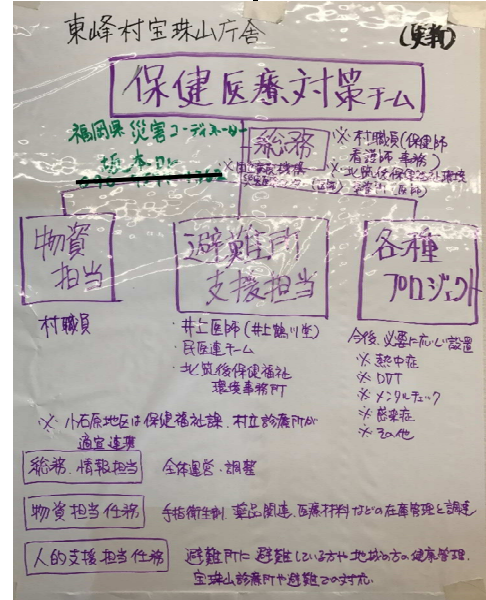


太宰府⇒筑紫野インターから「15分」+「40分」

医療対策チーム組織図



- * 朝倉JMATは 7/17に撤退
- * 東日本大震災と熊本地震は「日本」対応
- * 九州北部豪雨災害は「福岡県」対応



特徴1、自治体、保健師らとの多職種連携



災害対策本部で

保健師と発災後の経緯等の情報を共有



災害医療対策本部で

JMAT、DPAT、日赤心のケア、栄養士会、薬剤師会など



各地区の支援現場で

破傷風、妊婦、言語聴覚障害者、遺族部屋など

特徴2、地元朝倉歯「会員」が支援参加



本部会議に参画し行政と連携

JMAT撤退後は歯科が医療本部会議の助言者に



福岡県歯科衛生士会との協働

避難所巡回診療・保健指導など



支援チームとの協働

応急処置後の紹介先受け入れなど

特徴3、地域連携室の歯科衛生士との協働



行政と本部会議で協議・提案

歯ブラシの保管方法などの環境アセスメント



全身・口腔・嚥下アセスメント

要援護者(要配慮者)対策



継続的な口腔ケア・保健指導

避難所の感染症対策

特徴3-1) 福岡県歯科衛生士会の取組み

- 「地域歯科連携室*」の歯科衛生士を派遣
- 「日衛 災害歯科マニュアル」活用
- 「日衛 災害歯科ベスト」着用
- 「アクションカード」作成
- 「Q&A集」作成
- 「環境ポスター」作成
- 「物品管理ポスター」作成

* 地域歯科連携室

- ・福岡県下6地区(小倉・直方・筑紫・糸島・うきは・久留米)
- ・平時から「在宅歯科医療」「地域包括ケア」などに従事

特徴4、福岡県内の三大学との協働



専門的対応(摂食嚥下など)

MRONJにも迅速性・専門性・継続性を発揮



避難所等トリアージの実施

朝倉歯への引継ぎ前に問題点を整理



支援引継ぎツールの考案

朝倉歯会員による避難所巡回時に運用

特徴5、福岡県歯科保険医協会との協働



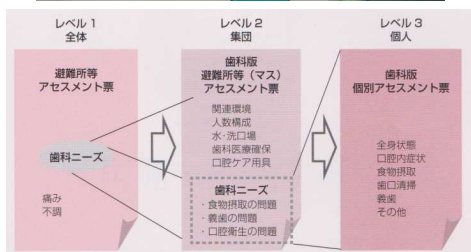
地域(歯科)医療情報の共有

協会・歯科医師会会員(東峰村)を見舞う
朝倉歯会長・副会長・うきは歯会長・八女歯会員



地域歯科医療供給体制の復旧

協会会員(東峰村)を見舞う
朝倉歯会長・副会長・うきは歯会長・八女歯会員



全国統一アセスメント票の運用

中久木康一:「歯科医院の防災対策ガイドブック」より引用

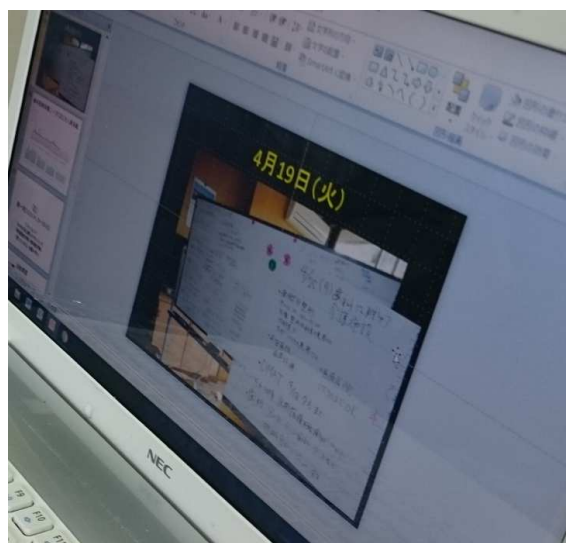
「起 その一」 先遣隊 出動 (2017年7月9日(日))

- ・県歯(医療管理部+地域保健介護部)+太田 を派遣
- ・朝倉歯会長が同行
- ・直後から、行政・保健師、自衛隊医療班と連携

朝倉歯会長診療所の受付にて 現地情報を聞き取り



避難所等の状況やこれまでの
対応の説明を受ける



朝倉歯会長を地元歯科コーディネーターとして、指揮下
に入り、示された方針等の実現に向けて取り組む

検証：災害対策本部への訪問



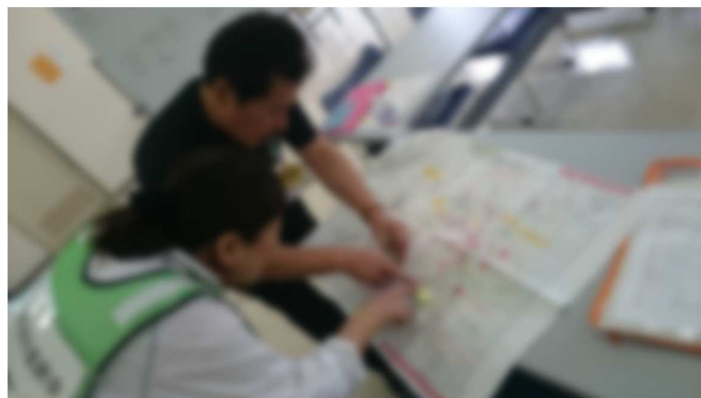
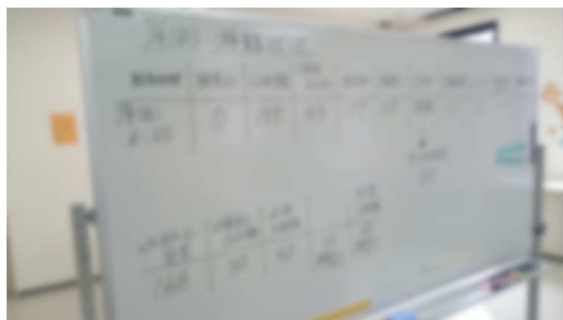
朝倉市災害対策本部職員から、
発災からの経緯等を聞き取り

朝倉市災害医療本部
職員から、基本情報
(地理など)を聞き取り



医療本部にて市職員から現状聞き取り

検証：市職員から地域の概要を把握



地図上に各地区の避難所をマッピング

活動結果を健康課職員に報告 避難所・食環境改善の意見交換も



検証：本部での提案事項（活動方針）



①感染症対策

- ・呼吸器感染症（風邪、気管支炎など）の防止
- ・誤嚥性肺炎の防止
- ・口腔ケアの啓発と環境整備

⇒口腔衛生士用品保管方法を提案



平成29年8月7日付
西日本新聞より

②要援護者対策

- ・指定避難所での高齢者・障害者への支援
- ・指定避難所以外の高齢者・障害者施設への支援

⇒市へ、各施設への通達（囑託歯科医の検診）を依頼

③食べる支援

- ・常食以外も提供するよう栄養士会などとの協議
- ・義歯紛失等への応急処置

⇒ミールラウンド（摂食嚥下専門医を派遣）の提案
他職種に対し食事観察と異常発見時の連携を要望



会員安否確認 → 身元確認作業での派遣

- ・ 7月12日（水）：甘木武道館
県歯医療管理部長1名、部員1名：2体実施
- ・ 7月13日（木）：甘木武道館
郡市区歯科医師会役員2名：2体実施

いずれも、

デンタルチャート採取

生前記録と死後記録の照合作業

* 7月13日に3体の身元が判明し、14日以降の派遣中止・終了

「起 その二」 アセスメント隊 出動

(7月14日(金)、15日(土))

＜ミッション＞

- ・地域住民のアセスメント実施
- ・避難所等トリアージの実施
- ・要援護者(要配慮者)対策
- ・避難所等の感染症対策

検証：歯科衛生士中心のアセスメント隊の 活動

＜活動概要＞

- 1、14日は、朝倉市の一部
避難所5か所
* 朝倉市は、保健師に同行



8月6日 朝倉市内某所にて

- ・人員・車両の確保と配置を再検討する必要性

14日 朝倉市(歯科医師1名＋歯科衛生士4名)

15日 朝倉市(歯科衛生士1名)＋東峰村(歯科医師
1名＋歯科衛生士3＋1名)

検証：歯科衛生士中心のアセスメント隊の活動

- ・歯科衛生士によるアセスメントの意義

熊本地震南阿蘇村(口腔外科医)との比較

- ・県衛幹部(会長、副会長)派遣の意義

最初はやはり、幹部と経験者が必要！不必要？

- ・避難所ごとの情報収集精度は？

甘木地区避難所Aは、「福祉避難所」

甘木地区へ、「杷木地区住民をへり搬送」

「遺族部屋」、「破傷風」、「言語障害者」、「妊婦」

検証：避難所トリアージの必要性

- ①被災状況の判断の適格性

南阿蘇村地区と比較して「医療」の見落としあり

- ②支援チームの人員・能力に関する判断の適格性

歯科医師会の派遣成果の低さ、大学のチーム編成

- ③書類引継ぎ以外での、引継方法の検討の必要性

県歯事務局やネットの活用はできなかったか？

- ④「コーディネート」という視点から

本部常駐担当者による「誰でもできる仕組み」作りの必要性

「承」 本隊 出動

7月16日(日)～19日(水) 九州大学
7月19日(水)～23日(日) 福岡歯科大学+福岡県歯
7月23日(水)～26日(日) 九州歯科大学

<ミッション>

- ・災害フェーズ急性期から慢性期への活動実施
- ・多職種・地元との連携を強化

検証：福岡三大学の連携



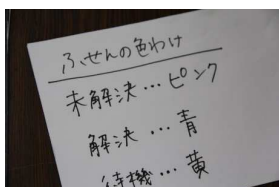
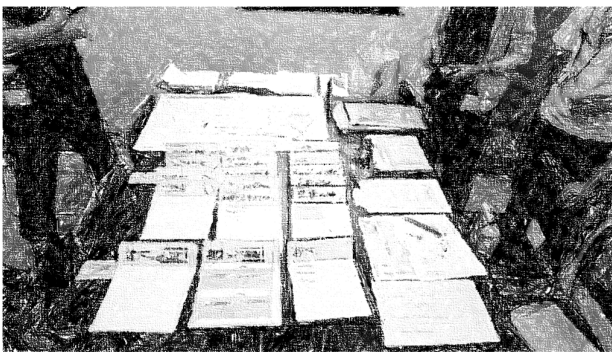
- ・簡易避難所等トリアージの活用
- ・朝倉歯への引継ぎツールの考案
- ・朝倉歯・福岡県歯・福岡県衛との協働

「転」 九州歯科大学 出動 (7月23日(日)~26日(水))

＜ミッション＞

- ・災害慢性期でのリハビリテーション
- ・地域医療へバトンを繋ぐ

検証：地元への引継ぎを見据えた活動



- ・避難所等トリアージの再実施
- ・引継ぎツールの考案と運用
- ・朝倉歯・福岡県歯との協働
- ・福岡県衛との協働

検証：避難者トリアージ（南阿蘇村式）

「捨てない」、「重ね貼り」、「赤→緑へ」

「赤＝進行中・急連絡」「緑＝解決・紹介」「青＝連絡」

分類	被災者の傾向	避難所・施設などの傾向	
		要援護者対応	水・食糧
SA (最重要対応)	要援護者 介護施設	あり 対応不可	なし
A (重要)	未成年 高齢者 中心	あり 対応可	少量
B (注意)	成人 中心	なし or あり 対応不可	少量 or あり
C (経過観察)	健康	なし or あり 対応可	あり

「結」

地元 朝倉歯科医師会 出動

(7月26日(水)～8月6日(日))

<ミッション>

- ・「ソフトランディング」での引継ぎ
- ・「支援」から「自立」へ移行

検証：被災郡歯会への引継ぎ



平成29年8月7日付 西日本新聞より

- ・福岡県衛との連携
- ・県歯事務局との連携
- ・避難所等トリアージ
- ・県歯会員間での連携
- ・引継ぎツールの成果
- ・保険医協会との協働
- ・その後の朝倉歯の変化は

検証：支援実績（歯科支援活動集計）

歯科保健医療救護報告書(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研 ver1.3

報告日: 年 月 日 ()

※ この用紙は日ごとではなく、出務場所ごとに記載ください

(報告者名、所属:)

(電話番号:)

業務日時	月 日 ()	活動時間: 時 分 ~ 時 分
(1) 班員名 (氏名・職種)	所属したものをすべてに○をつけてください(その他は内容を記載ください)	
(2) 業務内容	評価(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供 その他()	
イ 出務場所	建物など名 () ※ この用紙とは別に、それぞれの出務場所ごとの、「避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント表(レベル2)」も、別途記載し提出してください	
ロ 処置内容 処置人数	対応・処置 実人数: () (内訳: 18才未満 () 人、一般成人(18-64才) () 人、高齢者(65才以上) () 人)	記載なし () 人
対応した項目の 口にてチェックを 入れて、人数を 記載ください	処置・治療など 実人数 (計 人)	診察・相談・指導・ケアなど 個別 実人数 (計 人)
□ 口腔外科処置 () 人	□ 個別 歯科相談・保健指導のみ (口腔内なし) () 人	□ 個別 診察説明・歯科保健指導(口腔内あり) () 人
□ 再装着 () 人	□ 個別 口腔ケア指導(口腔のみ) () 人	□ 個別 口腔ケアの実施、及び、指導 () 人
□ 歯面研磨 () 人	□ 個別 口腔ケアの実施のみ () 人	□ 個別 口腔ケアの実施のみ () 人
□ 歯内療法処置 () 人	□ 集団 歯科講話・保健指導・啓発 () 人	□ 集団 歯科講話・保健指導・啓発 () 人
□ 保存修復処置 () 人	□ 口腔ケア用品の提供 () 人	□ 口腔ケア用品の提供 () 人
□ 歯周治療処置 () 人	□ その他の診察・指導など () 人	□ その他の診察・指導など () 人
□ 消炎鎮痛・処方 () 人		
□ その他の処置など () 人 ※内容を記載ください		
紹介など 実人数 (計 人)	被災者下に関する評価・診察・指導など 実人数 (計 人)	
□ 紹介(歯科へ) () 人	□ 被災者下機能スクリーニング(RSST、MWST、FT) () 人	□ 被災者下機能の評価(脳筋聴診など) () 人
□ 紹介(内科へ) () 人	□ 被災者下に関する指導(体位、関節訓練) () 人	□ 食形態や摂食方法などの指導(直接訓練) () 人
□ 紹介(その他へ) () 人	□ その他の被災者下に関する対応など () 人	□ その他の被災者下に関する対応など () 人
□ その他の紹介など () 人 ※内容を記載ください		
ハ 出務場所の 状況・活動報告	歯や口に関する ことのみ	

※ この用紙とは別に、それぞれの出務場所ごとの、「避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント表(レベル2)」も提出してください

歯科保健医療救護 個別記録表(災害時歯科共通対応記録) 災害歯研 ver1.0

担当部署・所属: ()

連絡先: ()

実施日: 月 日 ()

時間: () ~ ()

業務内容: 診察(アセスメント)・相談・診察・治療・個別指導・集団指導・物資提供・その他()

出務場所: 建物・避難所など名 () (市町村など名) 避難所種別: () 施設・保健住宅等・その他()

処置・対応内容	処置・治療など		診察・相談・指導・ケアなど		紹介など		被災者下関係	
	名前	性別	年齢	種別	種別	種別	種別	種別
()								
()								
()								
()								
()								
()								
()								
()								
()								
()								

*** 集計中**

歯科治療、口腔ケアなどの支援実績は、災害時歯科共通対応記録(日本災害時公衆衛生歯科研究会作成)を利用予定

検証：支援物資の動き

		搬入	搬出	個数	搬出先・方法など
1	子供用歯ブラシ	在庫から	7/7	300	朝倉歯会長診療所・宅急便
	成人用歯ブラシ			400	
	紙コップ			3000	
	義歯安定剤(粉末)			100	
	義歯ケース			100	
	とろみ食 など			2400	
2	歯ブラシ・歯磨きペースト	提供	7/11	各360	甘木体育センター・宅急便
	マウスウォッシュ	在庫から		240	
	義歯安定剤(粉末)			100	
	義歯ケース			200	
3	歯間ブラシ		提供	7/18	400
	フッ素入り歯磨きジェル	400			
4	義歯洗浄剤	提供	7/26到着	約800	朝倉市役所・宅急便
	義歯安定剤(ジェル)	約700			
5	同上	提供	7/24到着	各80	朝倉歯専務診療所・宅急便
6	子供用・成人用歯ブラシ	在庫から	7/22	各360	朝倉本部・Dr.持参
	義歯安定剤・洗浄剤 など			各500	
7	義歯ブラシ	熊本県歯から	7/30到着	144	朝倉本部・DH持参
	デンタルフロス			約3500	

福岡県歯科医師会：九州北部豪雨災害派遣に関する報告会(10/16)配布資料より

検証：歯科医療災害派遣報告会(10/16)

<指摘された問題点>

- ・行政・医科との情報共有の重要性
- ・災害歯科コーディネーターの不足
- ・歯科衛生士による長期支援の困難さ
- ・支援物資の管理方法や情報伝達の改善点
- ・災害時の受援・支援・派遣に対する常設組織の必要性

・事務局支援の必要性
・実働できる派遣登録者

* 任期を執行部と調整

<評価できる点>

- ・3大学によるマンパワーの充実
- ・朝倉歯と支援チームとのスムーズな連携



H30年5月
歯科保健医療支援研修会
主催：地域医療介護保険部